



# 「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 最終号 令和7年3月27日

## これまでのご支援、本当にありがとうございました！

3月17日（月）、小出病院で令和6年度医療専攻発表会を開催しました。生徒たちは、2年間アドバイザーとして、多くの学びの機会をくださった小出病院の布施克也院長先生を前に、これまでの感謝とこれからの決意を伝えるべく精一杯発表会に臨みました。また、布施先生をはじめ、多くの職員の方々から頂いたアドバイスや激励の言葉は、生徒たちの胸に深く刻まれ、医療職に就きたいという思いを新たにしていました。

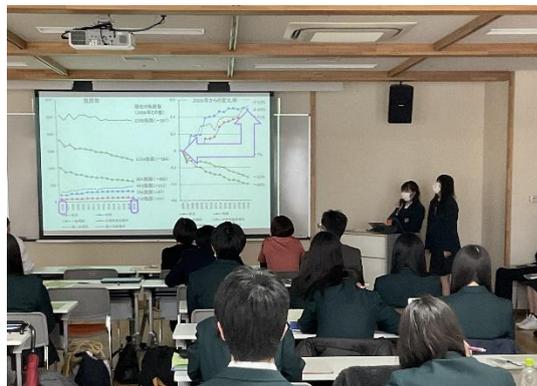
この発表会を開催できましたのも、小出病院様をはじめ、これまでご協力いただいた医療講演会講師の先生方や魚沼市消防本部様、魚沼基幹病院様、新潟医療福祉大学様のおかげであると生徒ともども深く感謝いたしております。

### 当日のプログラム

- 1 開会挨拶
- 2 アドバイザー紹介
- 3 グループ別発表
  - ① 看護師にとって1番大切な資質は、本当にコミュニケーション能力なのか  
森 姫乃 小杉 娃瑠 谷内 文香
  - ② 魚沼地域の「地域包括ケアシステム」は、本当に地域完結型の医療が行われているのか  
遠藤 楓也
  - ③ 社会福祉士（ソーシャルワーカー）の仕事は、本当に相手への「優しさ」が1番必要なのか  
高村 潤 鈴木 心渚 塩野谷 莓果
  - ④ 難病支援を支援する方法は、本当に医療的なアプローチしかないのか  
渋谷 璃空
  - ⑤ 魚沼基幹病院の地域周産期母子医療センターの開設は、開設前と比べて本当に地域の支えになっているのか  
佐藤 愛優奈 上村 美桜
  - ⑥ チーム医療がもたらす効果は、従来の医療体制と比べて本当に高いのか  
後藤 美胡 久川 藍
  - ⑦ チーム医療で最も必要なことは何か  
木津 ほのか 中澤 莉緒
- 4 講評
- 5 生徒代表挨拶

## 〈発表の様子〉

総合探究学習の一環として「■■■■は、○○○と比べ本当に★★★★なのか」という枠組みで、各班がテーマを設定し、まとめたものを発表しました。



〔発表の様子〕



〔生徒代表挨拶〕



〔布施院長先生からの講評〕



〔職員の方からの講評〕

## 生徒の感想（医療専攻を通して）

- ・1年間医療専攻の活動を通して、たくさんの医療職について知ることができ、興味を持つことができました。また、自分が本当にやりたい仕事を見つけるための勉強もできました。病院、学校見学もあり、より近くで見ることができ、なりきり体験では実際にその職種を体験してどのようにしているのかが分かりました。他の学校の人とも交流ができ、たくさんの意見を出し合いながら班活動を行うことができました。患者さん自身の話も聞けたりして、この医療専攻でたくさん学ぶことができました。
- ・今日で1年間の医療専攻の活動が終わりました。1年間で今の医療現場の現状や患者さんとの関わり方、医療の知識やあるべき姿など、たくさんのことを知ることができました。私は、将来医療従事者になりたいと考えているので1年間の医療専攻で学んだことを活かして相手を思いやる気持ちなどを大切にして、これからは学校生活を送っていきたくないと改めて感じました。
- ・この1年間、医療専攻で学んできて私は少し怖くなってしまいました。自分はこの人たちのように立派な医療従事者になれるのか、大きすぎる責任を負えるのか、足がすくんでしまいました。知識だけでなく、どれだけ患者ファーストで行動できるかが大切なんじゃないかと思いました。今は大学に受かるかどうかで頭がいっぱいでさらに不安が大きくなっていますが、今から「患者に寄り添える」医療従事者をイメージしてそれに近づけるように、勉強をがんばりたいです。
- ・1年間医療専攻の活動を行って、元々の自分とは知識や気持ちの面で看護師に向かう姿勢が強くなったことを感じています。サマーセミナーをはじめとした校外活動や講演会など医療専攻を選んだからこそこの貴重な体験をたくさん行うことができ本当によかったです。また、その体験を通して出会うことのできた医療従事者の方や同じ医療職を目指す他校の仲間には本当に感謝しています。そして、そういう人たちとも出会えることができるのがこの医療専攻の魅力の一つだと思うことができました。この経験を将来に活かしたいです。

